

加盟団体各位  
役員各位

最近続けて事故報告が2件ありました。本連盟では毎年11月を「安全月間」とする採択をいただきまして、5年が経過しました。しかしながら、高校の部活中の事故や競技会・練習中の事故が発生しています。幸い大事に至ってはいませんが、部活中・競技会中の事故は常に危険を孕んでいるという証です。

日頃の練習時の事故であり、「ついうっかり」「まあいいだろう」「無関心」が事故に共通した問題と言えます。日頃から十分な注意と配慮、そして問題意識を持つことが事故防止につながります。

事故等の概略を開示いたしますので関係者全員が、自分のこととしてご理解いただき、事故の根絶に向けて安全のための指導・管理に生かして下さいをお願いします。

## 記

### 射場の保安整備

・活動前の安全確認の点検(点検場所・点検項目)を明確化し、不良箇所の発見時・確認時の対応を、部員全員が確認しておく。

### 弓具の安全点検

・使用前の点検を日課とし、些細な不良箇所も見逃さないで、弓具は常に安全に使えるよう、自己の責任で手入れをする。弓の組立時点での注意点を具体的に明示し、指導を早急を実施する。

以上

### 事例1

発生日 平成26年4月24日

部活動練習中に、矢がアーチェリー場より飛び出して、射場の防矢フェンスを越えて、後方にある会社工場の壁に刺さった。50m距離での練習中で、3つある防矢フェンスに設置してある矢止ネットの間を抜け出たと思われる。

【レストアップが原因と考えられる。】

### 事例2

発生日 平成26年5月18日

高校生競技大会で午前中の競技を終え、昼食を済ませた後、午後の競技に備えるため、ストリングの張り直しを図った。そのとき上リムがストリンガーから外れ、リムチップが当該生徒の右眉毛上部1～2cmのところに強打した。

頭がい骨陥没骨折(右眉上) 一週間の入院加療の診断(5/20時点)

#### 原因

- ① トリンガーのグローブ部分が、上リムチップ部分に十分挿入されないままに作業を開始した。
- ② トリンガーのチップ挿入部分の縫い目がほつれていた(経年変化)。
- ③ ストリンガーにきちんと挿入しないままに負荷をかけたために、劣化部分が破損し、上リムが外れたものと推測される。

平成26年 5月21日  
全日本アーチェリー連盟  
理事長 宮崎 利帳